

京都大学  
高等教育研究  
第4号

---

京都大学高等教育教授システム開発センター

1998

## 目 次

ごあいさつ 梶 田 毅 一 京都大学高等教育教授システム開発センター長

## 第一部 論 稿

## 共同研究／平成9年度公開実験授業の成果と課題

## 大学教育における授業の構造と構造化

田 中 每 実 京都大学高等教育教授システム開発センター …………… 2

## 「公開授業における相互研修の効果と問題点」

石 村 雅 雄 京都大学高等教育教授システム開発センター …………… 15

## 学生の満足する授業過程分析に向けて（序報）

溝 上 慎 一 京都大学高等教育教授システム開発センター …………… 22

尾 崎 仁 美 大阪大学大学院人間科学研究科

平 川 淳 子 大阪大学大学院人間科学研究科

## 授業のフレームと日常の知——「何でも帳」を主とした相互行為分析を通して——

大 山 泰 宏 京都大学高等教育教授システム開発センター …………… 65

## 大学院教育における遠隔個別指導について

子 安 増 生 京都大学大学院教育学研究科 …………… 82

## 国際教育の時代到来——コミットメント醸成についての一考察——

佐 藤 進 京都大学大学院経済学研究科 …………… 89

## 専門学校生の「学習技能・意欲」に関する調査研究——「医療分野」の学生を事例として——

河 井 正 隆 明治東洋医学院専門学校 …………… 100

## 第二部 記 録

## 「第4回大学教育改革フォーラム；これからの教養教育をどうするか」（所属等はフォーラム開催時）

はじめに 福 井 有 公 京都大学高等教育教授システム開発センター長 …………… 113

## 講 演 「今日の教養教育問題」

市 川 昭 午 国立学校財務センター教授 …………… 114

## 報 告 「教養教育の組織化について」

森 正 夫 名古屋大学文学部教授・副総長 …………… 121

三 好 郁 朗 京都大学総合人間学部教授・学部長 …………… 126

## コメンテーター

## 「組織の見直しの観点から」

万 波 通 彦 京都大学工学研究科教授・図書館長 …………… 131

## 「教育社会学の観点から」

竹 内 洋 京都大学教育学部教授 …………… 133

## 「高等教育論の観点から」

田 中 每 実 京都大学高等教育教授システム開発センター教授 …………… 135

その他の議論 .....	139
<hr/>	
米国における大学改革：ハーバードの場合	
ジェイムズ・ウイルキンソン	
ハーバード大学 デレック・ボク教授学習センター長	
翻訳文責 大 山 泰 宏 京都大学高等教育教授システム開発センター	
.....	152
<hr/>	
高等教育教授システム開発センター日誌（1997年10月～98年8月） .....	161
センター業績（1997年4月1日～1998年8月31日） .....	164
『京都大学高等教育研究』編集規定 .....	171
『京都大学高等教育研究』投稿規定 .....	171

## 『京都大学高等教育研究』編集規定

1. 本誌は京都大学高等教育教授システム開発センターの研究誌として、原則として1年に1回発行する。
2. 本誌には、本センター関係教官の研究論文等の他、共同研究の報告その他本センターの研究活動、本学の高等教育改革に関する記事等を編集掲載する。
3. 本誌の編集のために編集委員をおく。編集委員長は、センター長が委嘱する。編集委員長は編集委員若干名を委嘱する。編集事務を担当するために編集幹事をおく。編集幹事は編集委員長が委嘱する。編集委員長及び編集委員の任期は1年とする。但し、再任を妨げない。
4. 編集委員会は、各年度の編集方針その他編集に必要な事項を定める。
5. 本誌に論文等の掲載を希望する者は、所定の論文投稿要領及び編集委員会の定める各年度の編集方針に従い、原稿3部（うち2部はコピー可）及び原稿をテキストファイルで保存したフロッピーディスク（2HD、1.4MB）を編集委員会事務局に送付しなければならない。
6. 投稿された論文等の掲載は、編集委員会の合議によって決定する。
7. 掲載される論文等について、編集委員会は若干の変更を加えることができる。但し、内容に関して重要な変更を加える場合は、執筆者との協議を経るものとする。

（付則）本規定は、平成9年度発行の『京都大学高等教育研究』第3号から施行する。

（付則）本規定は、平成10年度発行の『京都大学高等教育研究』第4号から施行する。

## 『京都大学高等教育研究』投稿規定

1. 論稿の内容は、日本及び世界の高等教育研究に寄与しうるものとする。
2. 投稿された論稿は、レフェリー制度を通じて選定の上編集される。投稿原稿は原則として返却しない。
3. 用語は原則として日本語を用いること。但し、特殊な文字ならびに記号の使用については編集委員会に相談のこと。
4. 論稿は原則として以下の作成要領により、ワープロによって作成するものとする。
  - ① A4版用紙を縦位置で使用し、横書きとする。
  - ② 1,000字を1頁とし、20頁以内の分量とする（図表、註、参考文献を含む）。
  - ③ 論文題名の後に題名の英訳を記すこと。
5. 稿料の支払い、掲載料の徴収は行わない。但し抜き刷りを50部贈呈する。なお、それ以外にもあらかじめ注文があれば実費で作成する。
6. 投稿希望者は参考文献表記法等のパンフレットを編集委員会に請求すること。
7. 本規定の改正は編集委員会が行う。

（付則）本規定は、平成9年度発行の『京都大学高等教育研究』第3号から施行する。

（付則）本規定は、平成10年度発行の『京都大学高等教育研究』第4号から施行する。

編集委員 梶田 勲 一 ◎田 中 毎 実 ○石 村 雅 雄  
溝 上 慎 一 大 山 泰 宏 (◎は委員長、○は編集幹事)

平成10年9月30日 印刷

非売品

平成10年10月1日 発行

発 行 京都大学高等教育教授システム開発センター

京都市左京区吉田本町(〒606-8501)

T E L 075-753-3087

F A X 075-753-3045

印 刷 (株)北斗プリント社

京都市左京区下鴨高木町38-2

T E L 075-791-6125

# Kyoto University Researches in Higher Education

## vol. 4

---

### CONTENTS

#### Articles

- Group Research/The Fruits and Problems of Open Laboratory Class, 1997
- The Structure and Structuring of Classroom in University Education. .... TANAKA Tsunemi  
Effect and Problems of Mutual Training  
through Open Laboratory Class's Experience in Kyoto University. .... ISHIMURA Masao  
Aimed at Analyzing Teaching Process with Students are satisfied. .... MIZOKAMI Shinichi  
OZAKI Hitomi  
HIRAKAWA Junko
- The Frame of Lecture and the Commonsense Knowledge  
— through an Interaction Analysis mainly on “Nandemo-cho (Everything Notebook)”  
..... OYAMA Yasuhiro
- Distance Tutoring for Graduate Education. .... KOYASU Masuo
- The Advent of International Education — *A Study of the Cultivation of Commitment*  
..... SATO Susumu
- Research on the Actual Condition of the Learning Skill and Motivation of Professional School Students  
— from a Case of Medical Professional Schools — ..... KAWAI Masataka

#### Documents

- IVth Forum of University Reform; Liberal Education from now on.
- Opening Remarks ..... FUKUI Yuko
- Lecture “The Issues of Liberal Education today” ..... ICHIKAWA Syogo
- Report “On Organization of Liberal Education” ..... MORI Masao  
MIYOSHI Ikuo
- Comment “From the view point of System Review” ..... MANNAMI Michihiko  
“From the view point of Educational Sociology” ..... TAKEUCHI Yo  
“From the view point of Higher Education Theory” ..... TANAKA Tsunemi
- Discussion
- University Reform in the United States: The Case of Harvard. .... James Wilkinson  
Translation OYAMA Yasuhiro

---

RESEARCH CENTER FOR HIGHER EDUCATION

Kyoto University

1998